

フィリピン向け水門工事を受注 ～ ODA による河川改修事業 ～

カナデビア株式会社は、このほど、東洋建設株式会社（東京都千代田区、中村 龍由社長執行役員 COO、以下、東洋建設）と当社および株式会社 IHI インフラ建設（東京都江東区、森内 昭代表取締役社長、以下 IIK）で構成する共同企業体（以下、当 JV）が、フィリピン公共事業道路省が発注する「パッシング・マリキナ川河川改修事業（フェーズIV）」のうち、パッケージ 1 を受注しましたので、お知らせします。

本事業は、日本の技術を活かして、同国の防災対策を強化する日本政府開発援助（ODA）案件の一環であり、有償資金協力（円借款）の枠組みにおける本邦技術活用条件（STEP: Special Terms for Economic Partnership）として実施されます。パッケージ 1 工区は、フィリピンのマニラ首都圏を流れるマリキナ川の中・下流部に位置しており、同地域の護岸整備や河道浚渫とともに、堰や水門の整備を計画しています。これにより、内水氾濫（河川水位の上昇により、周辺の雨水が排水できなくなることによる浸水）などの洪水被害を低減させるためのものです。

水門設備は、防災インフラとして優先順位が高い設備の 1 つであり、人々の生命を守り、豊かな生活を支える重要な役割を果たしています。フィリピンのマニラ首都圏は沿岸低地地域に位置しているため、台風や洪水による水害が頻発しており、今後も防災マスタープランの策定と ODA による事業化が期待されております。当社は 1923 年に水門事業を開始して以降、数多くの水門設備を海外に納めてきました。これまでの 100 年以上におよぶ水門事業の実績を活かし、フィリピンの水害対策に貢献していきたいと考えています。

なお、本件の概要は以下のとおりです。

1. 工 事 名：パッシング・マリキナ川河川改修事業（フェーズIV）パッケージ 1
2. 受 注 者：東洋建設・日立造船*・IHI インフラ建設共同企業体
（※共同企業体名については、9 月末の契約締結のため旧社名表記）
3. 事業内容：1.3 km の河川改修（カインタ水門・タイタイ樋門からマリキナ橋付近まで）・マリキナ堰の製作・輸送・据付・試運転 ・ マンガハン放水路における逆流防止水門（カインタ水門、タイタイ樋門）の製作・輸送・据付・試運転

（終）